

11月

はつらつ 尾久六っ子!



尾久地区 連合運動会(6年)

10月10日、6年生は尾久地区6校が集まる連合運動会に参加しました。当日の朝は全校のみんなからのエールもらい、熱い思いを胸に決戦の地、尾久小学校へ出発しました!

子供たちは100m走・50mハードル走・800m走・学校対抗リレーに出場しました。友達やお家の方の応援を受け、自分の最高記を目指し、全力でゴールを駆け抜けました。



個人種目では、**8人が6位以内に入賞**しました。また学校対抗リレーでは、**男子は優勝、女子は3位**という素晴らしい成績を残すことができました。尾久六っ子は個人としてもチームとしても大健闘しました。

少し肌寒い秋空の下、子供たちは最後まで闘志を燃やした一日となりました。

「劇『とりの王さまコンテスト』への取り組み」

10月に入ると、学芸会の練習に、準備にと1年生は大忙し。ある日、神様が「とりの王さま」を決めようと言ひ、森の鳥たちは大喜びで自分たちをアピールしていくというお話。

登場する鳥たちは、インコ、ペニスズメ、クジャク、そしてカラス。秋の山でどんな話が繰りひろげられていくのか、みんな台詞にふりや踊りを工夫しながら考えています。

背景の秋の山をみんなで作った「秋の山ベタベタ大作戦」と鳥の衣装に羽をつけているところです。どちさま、みんな楽しんでつくりあげることができました。



『びっくり! はっ見! こん虫生きもの大はくぶつかん』

1学期から観察したり、育てたりしてきた生き物について、調べて分かったことや知ったことの発表会を行いました。体育館を使い、1組は2組へ、2組は1組へ発表をしました。新聞で発表する班や紙芝居、劇、ペープサート、模型、触れ合いコーナーなど、自分たちでどのように発表するかを一から考え準備をしてきました。

初めての発表方法も多くありましたが、どの班も工夫を凝らし、友達と協力して準備と練習を行っていました。感想では、初めて知ったことについて書く児童も多く、発表を聞いた後は、互いに考えを伝え合う事が出来、とても良い活動ができました。



「道徳の授業の様子から」

3年生では、自分の考えやわかったことを友達に伝えたり、友達の考えを聞いて自分の考えを深めたりする授業を大切にしています。

道徳の「なかよしだから」の授業でも、「なかよしだから、なお教えられないよ。」と断られた主人公の気持ちを疑似体験し、本当の友達について考える学習をしました。自分の考えを発表したり、友達の考えを聞いて共感したり、違う考えを聞いて質問したりする中で、真の友達関係を築いていくための大事なことに気づきました。初めの頃は、限られた人の発言でしたが、だんだん自分の考えを伝えられるようになり、学び合うことも少しずつできるようになりました。



「自転車の安全な乗り方を学びました!」

10月26日の5、6時間目に尾久警察の方に来ていただき、「自転車安全教室」を実施しました。自転車の乗り方についてテストや実技の試験を受けながら、警察の方に、自転車に乗る時に気をつけなければいけないことを教えてもらいました。

普段の自分の自転車の乗り方を見直すいい機会になったと思います。自転車は被害者にも加害者にもなってしまうことを自覚してこれからも、交通安全に気を付けて自転車に乗るようにしましょう。



「頼もしかった、5年生!」

10月25日(木)に行われた「就学時健診」では、来年度1年生になる可愛い後輩たちのお世話を5年生が行いました。事前に体育館にパイプ椅子を並べたり、期待と不安でいっぱいの後輩たちの手を優しく引きながら各教室に誘導したり、5年生は大活躍でした。途中トイレに行きたくなる子には優しく使い方を教え、服の脱ぎ着に時間を要する子にも優しく笑いかけながら手助けをしていました。その姿に頼もしさを感じました。

残り数ヶ月で、尾久六小を背負って立つ最高学年です。今月上旬に行われる学芸会や3月の卒業式準備など、一つ一つの行事を通してさらに大きく成長できるよう、これからも全力で取り組んでいきます。



将来の自分を見つめて

6年生はキャリア教育の一環として、年間を通して、職業にはどんな種類があるかを知り、その中で自分が興味をひかれる職業について調べています。また「未来の自分史」を作ることで、自分の将来を具体的に思いえがくことができたようです。

【児童の感想より】

「自分史を書いていて、本当に夢がないような気がしてきました。」

「自分が想像した未来が、現実になるように頑張りたいです。」

「友達と自分史を見合って、みんなの夢がそれぞれ違って面白かったです。」

「みんなの自分史を見て、どれも具体的に書いてあって驚きました。」



